

令和5年7月6日

各中学校長 様
各 理 事 様

鳥羽志摩中学校体育連盟
会長 東川 泰仁

令和5年度 第72回鳥羽志摩中学校陸上競技大会
兼 第76回三重県中学校陸上競技選手権大会予選会 について

記

- 1 主 催 鳥羽志摩中学校体育連盟
- 2 後 援 鳥羽市中学校校長会 志摩市中学校校長会
鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会
- 3 主 管 鳥羽志摩陸上競技協会
- 4 期 日 令和5年 8月18日(金) 予備日19日(土)
9時00分 開会式 9時30分 競技開始 雨天決行
- 5 場 所 三重交通Gスポーツの杜伊勢 第二陸上競技場(補助陸上競技場)
伊勢市宇治館町510 TEL) 0596-22-0188
- 6 種 目 **男子県大会種目(14種目)**
100m 200m 400m 800m 3000m 110mH 低学年4×100m R
4×200m R 走高跳 走幅跳 三段跳 棒高跳 砲丸投 円盤投
男子学年種目(4種目) 1年100m 2年100m 1年1500m 2年1500m

女子県大会種目(13種目)
100m 200m 800m 2000m 100mH 低学年4×100m R
4×100m R 走高跳 走幅跳 三段跳 棒高跳 砲丸投 円盤投
女子学年種目(4種目) 1年100m 2年100m 1年1000m 2年1000m
- 7 参加制限
 - (1) 県大会種目
 - ①男女とも**1種目3名以内、1人2種目**(リレーは除く)までとする。
 - ②リレーは各校1チームとする。共通リレーと低学年リレーは兼ねられない。
 - ③低学年リレーのオーダーは 2年-1年-1年-2年とする。
 - (2) 学年種目
 - ①学校からの出場制限は設けない。
- 8 申し込み
 - (1) 各学校単位とする。
 - (2) 以下の手順で行うこと。
 - ①申し込み用の Excel のワークシートに**名簿と種目別参加人数を確実に**記入し、下記のアドレスに送付する。締め切りは**8月15日(火)12:00(厳守)**とする。
 - ②**名簿のNo.と参加数を送付前に、必ず確認すること。**
 - ③申し込みフォーマット(エクセル形式)は、鳥羽志摩中体連HPからダウンロードすること。7月7日(金)以降にアップ予定。

④8月16日(水)13:00のプログラム編成会議に個票と一覧表を持参する。

(時間厳守・文岡中)。その際、一覧表には学校長印を押印し、個票(男子は黒、女子は赤で記入)は切り離しておくこと。

⑤記録は、公認記録を記入すること。

公認記録のない選手は、実測した記録を()で記入すること。

男子110mHの記録については55mHの記録を記入しても良い。

⑥この日以降の種目変更・追加申し込み、その他の変更は認めない。

(3) 個人情報保護条例について

個人情報保護条例の施行に伴い、申し込み時に、プログラム掲載、新聞紙上への結果掲載、ホームページ等への掲載の承諾を各校で確認しておくこと。

申し込みのメールアドレス：t-nishio-joji@edu.city.shima.mie.jp

9 表彰

(1) 個人、男女総合、男子総合、女子総合は8位までとする。

(2) リレー種目、男女の各トラック総合、フィールド総合は、3位までとする。

(3) 学校対抗得点は1位8点・・・8位1点とする。

(4) 学年種目については、各校の上位1名のみ、得点に入れられることとする。

(5) 優秀選手については、①本年度陸上で全国大会出場者、本大会出場者の中で②通信陸上入賞者(混成大会も含む)、③本大会で2種目優勝、④大会新記録のいずれかを達成した者で、競技態度(学校生活)等他の選手の見本となる者とする。

10 アスリートビブス(ナンバーカード)について

(1) 県登録ナンバーとする。無いところは、下記の学校ナンバーを使用する。

男女で番号が重ならないように注意すること。※8000番台は使用不可。

(2) 大きさは縦18cm横25cmとし、背と胸につける。

(ただし、走高跳・棒高跳は背・胸のどちらか一方、走幅跳・三段跳は胸のみでよい。)

(3) 文字の幅は1cm以上で、男女とも黒で明記すること。

学校番号

6001～6049	磯部	7100～7149	鳥羽東	7150～7199	浜島
7250～7299	文岡	7300～7349	答志	7350～7399	東海
7400～7449	神島	7550～7599	大王	7600～7649	加茂
7850～7899	志摩				

空きナンバー6050～6099、7450～7499、7650～7849、7900～7949

※ 上記ナンバーを基本とし、足りない場合は専門部長(西尾)に報告の上、空きナンバーで対応する。

※ 県登録ナンバーとの重複がないかを確認する。

※ 日本陸連への登録がない選手が県大会に出場する場合、必ず日本陸連登録を行ってください。

※ 県大会参加費(1人1000円)は、9月の中体連理事会までに各学校で取りまとめ、文岡中西尾まで届けてください。

※ 今年度より県大会出場が決まった選手は日本陸連登録が必要となりました。詳しい登録方法は下記で確認します。

11 ケガ等の緊急時の対応 伊勢市地域医療情報センター(0596-28-1199)

・急病、ケガ等については、競技場内の救護室にて応急処置を施します。

・大けが等の緊急を要する場合は、直ちに救急車を呼ぶか、伊勢市地域医療情報センターに連絡し、その指示に従う。

各校の審判割当数と補助員について

1 審判（審判長は文岡中西尾が兼任。）

（養護は3名・・・審判数には入れないでください）

鳥羽東	10	磯部	6	
神島	2	浜島	4	
答志	4	文岡	10	
加茂	5	東海	7	
		大王	5	
		志摩	6	外部審判18名
			合計	76

※養護担当：安部真由（東海）、郷さほ（文岡）、金子巳恵（答志）にお願いしています。

以上の割当人数でお願いします。審判員の報告は、7月18日（火）までにメールを文岡中・西尾まで送ってください。

t-nishio-joji@edu.city.shima.mie.jp

2 補助員	磯部	8	投てき
	志摩	9	スターター
	文岡	12	走幅跳・三段跳
	東海	6	出発
	大王	8	走高跳・棒高跳
	浜島	4	ハードル（9・10）
	鳥羽東	7	ハードル（1～8）
	加茂・答志	各2	記録（決勝）・表彰

以上の割り当て人数でお願いします。

日本陸連登録に関する注意事項

<鳥羽志摩大会終了後>

- ①各校で日本陸連登録（方法は後日確認）をしてください。
- ②日本陸連登録には、チーム登録料10000円と選手1名につき2730円（アスリートビブス代含む）が必要です。
- ③日本陸連登録後、上記の必要金額をコンビニ支払いしてください。
- ④後日（期日は未定）、三重陸協よりチーム登録料10000円と選手1名につき1730円の返金があります。（1000円は個人負担）

競技注意事項

- 1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟の規則と本大会要項により競技を行う。
本大会で出した記録は公認されない(非公認大会)
- 2 招集について
 - (1) トラック種目は、競技開始20分前より開始し、10分前に終了する。
 - (2) フィールド種目は、競技開始40分前より開始し、30分前に終了する。
(投擲種目については競技開始20分前より開始し、10分前に終了する。)
 - (3) 招集は、全種目とも現地招集とする。
決められた時間に必ず集合すること(他の種目と重なっている者は代理招集を認める。その際、自分の競技する時間までに来なければ棄権とする)。
※県大会では代理招集は認められていないことに注意。
 - (4) リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに放送テントに提出すること。
未提出の場合は棄権とみなす。
- 3 競技について
 - (1) トラックとフィールドの種目を兼ねている者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を得てからその場を離れること(許可なくトラック種目に行った場合は、フィールド種目を棄権したとみなす)。
 - (2) スパイクのピンは、全天候性走路のためオールウェザー用9mm以下のピンを使用すること。(走高跳は、12mm以下のピンとする)
 - (3) リレー種目と三段跳・円盤投が近いので、注意すること(タイムテーブル参照)。

○トラック種目

- (1) トラック種目についてはすべてタイムレース決勝(一発決勝)とする。
- (2) 400m以下の種目ではプログラム記載のレーンで競技すること。
- (3) 800mのスタート方法は、オープンスタートとする。
- (4) 800mは参加人数により、並び方を決める。(プロ編時に決定)。
- (5) 1000m以上の種目では、16名までが1列目に並ぶこと。
- (6) 各レースで不正スタートを行ったものはすべて失格となる。
- (7) ハードルは次の規格で行う。()内は女子。

第1ハードルまで	13.72m	(13.00m)
高さ	0.914m	(0.762m)
ハードル間	9.14m	(8.00m)

※テイクオーバーゾーン(30m)の待ち方に注意。選手はゾーン内で待つこと。

※トラック種目の参加選手には、体操服で参加する生徒のみ色テープを貼る。

○フィールド種目

- (1) フィールド種目(走高跳、棒高跳を除く)は、3回の試技を行い記録のよい者から8名で決勝を行う。トップ8の試技順は記録の低いものから順番となる。
- (2) 走幅跳・三段跳・投てき種目は、1回目を計測し、その後計測ラインを設けることがある。
トップ8からは、全計測とする。
- (3) 三段跳の踏み切り板の距離については、プロ編時に決定する。
(昨年度は男子9m、女子7mラインにテープを貼る)

(4) バーの上げ方は原則次の通りとする。ただし、プログラム編成会議で変更する場合もある。

	男子走高跳	女子走高跳	男子棒高跳	女子棒高跳
練習	1 2 5	1 0 5	1 3 0	1 3 0
	1 3 0	1 1 0	1 3 0	1 3 0
	1 3 5	1 1 5	1 4 0	1 4 0
	1 4 0	1 2 0	1 5 0	1 5 0
	1 4 5	1 2 5	1 6 0	1 6 0
	1 5 0	1 3 0	1 7 0	1 7 0
	1 5 5	1 3 5	以後 10 cm ずつ	以後 10 cm ずつ
	1 6 0	以後 3 cm ずつ		

以後 3 cm ずつ
 ※順位決定戦については、走高跳は 2 cm、棒高跳は 5 cm ずつ上下する。
 ※走高跳、棒高跳の開始の高さはプロ編時に確定させる。

(5) 走高跳・棒高跳のジャンプオフについては、県大会進出に関わってのみおこなう。得点については、人数で割って得点化する。

(6) 投てき物の重さは下記のとおりである。

	男子	女子
砲丸	5.0kg	2.712kg
円盤	1.5kg	1.0kg

4 表彰

- (1) 個人、男女総合、男子総合、女子総合は 8 位までとする。
- (2) 男女の各トラック、フィールドは、3 位までとする。
- (3) 学校対抗得点は 1 位 8 点・・・8 位 1 点とする。
- (4) 学年種目については、各校の上位 1 名のみ、得点に入れられることとする。
- (5) 優秀選手については、①本年度陸上で全国大会出場者、本大会出場者の中で②通信陸上入賞者（混成大会も含む）、③本大会で 2 種目優勝、④大会新記録のいずれかを達成した者で、競技態度(学校生活)等他の選手の見本となる者とする。

5 ウォーミングアップについては、次のことを厳守すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 0 0 頃（準備完了後）～ 9 : 0 0 までは第二競技場（補助競技場）を使用してもよい。（トラック・芝生のみ可。フィールドは不可。） ※練習開始時間については、準備の状況を確認し、当日アナウンスにて連絡する。 ・ それ以降は空いているスペースがあれば、第二競技場を使用してもよい。（競技進行の妨げにならないよう十分注意すること。） ・ 雨天走路は使用可。多目的広場（旧サブトラ）は使用しない。

6 県大会申し込みについて

本大会の県大会予選種目において 3 位までの入賞者と、4 位～ 8 位までの者で、今年度標準記録に達した者は 9 月 30 日（土）・10 月 1 日（日）に行われる県大会(三重交通 G スポーツの杜伊勢)への出場資格を得ることができる。ただし、以下の場合には本大会に出場しなくても県大会に出場できる。

<p>全国大会出場選手は本大会に出場しなくても全国大会出場種目（1500m の場合は 800m か男 3000m・女 2000m）に限り、県大会出場権を与えられる。国体選手は、2 種目の県大会出場権を与える。ただし、予選に出場した場合は 8 位以内に入ることを条件とする。</p>
--

7 その他

(1) 競技場での移動は、フェンス際を通ること。

- (2) 競技場、跳躍場では、自分の順番を待つ間は腰をおろしていること。
- (3) 自分の使用した道具等は責任をもって片付けること。
- (4) 中体連の申し合わせ事項により、ジュース等の購入を禁止する。装飾品も禁止。
- (5) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 今年度も表彰は行わない（スムーズな競技進行のため）。最後に顧問が各校の表彰状を取りにくる。
- (7) 大会での傷害については応急処置のみで以後の責任は負わない。
- (8) テイクオーバーゾーンの確認は、開始式までに行うこと。

(当日の朝、4×200mRにおけるテイクオーバーゾーンの確認を8:30よりゴール付近にて専門部で行う。)

- (9) 投てき練習について、タオルを使っての投てき練習、メディシンボールやハンドボールを使っての練習は**投てき練習場（競技を行っていない時間帯）**で行う。
- (10) 各校ベンチについては割り振られた場所にとるようにする。

(メイン競技場コンコースはベンチとして利用してもよい。座席も緊急の場合は使用可能。)

- (11) 急な天候変化については、大会長、専門部長、理事において、中断、中止等の対応を協議する。なお、**天候によって大幅に競技が遅れる場合は、翌日に順延とする。(原則雨天決行)**
- (12) **開会式は行う。閉会式は生徒の帰宅時間を考慮し、行わない。結果発表は集計が完了し次第、放送で行う。**

8 災害時への対応

地震・津波に対して何らかの発令が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1) 大会開始前

- ・在宅中の場合には、自宅にて安全を確保させる。午前6時の段階で発令されている場合は、その日の競技はすべて中止とする。
- ・会場への途上の場合には、速やかに帰宅する。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。

(2) 大会開催中

- ・ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、本競技場2Fコンコースに避難するか状況を大会長が判断して、もっとも安全と思われる方法を指示する。

(3) 発令が解除された場合

- ・解除された場合であっても、交通機関、通信手段等相当な社会混乱が予想されるため、当分の間大会は中止する。

(4) 報告

- ・専門部委員長は、大会の実施、中止、延期等について必ず中体連事務局に報告を行う。

9 各校の準備物

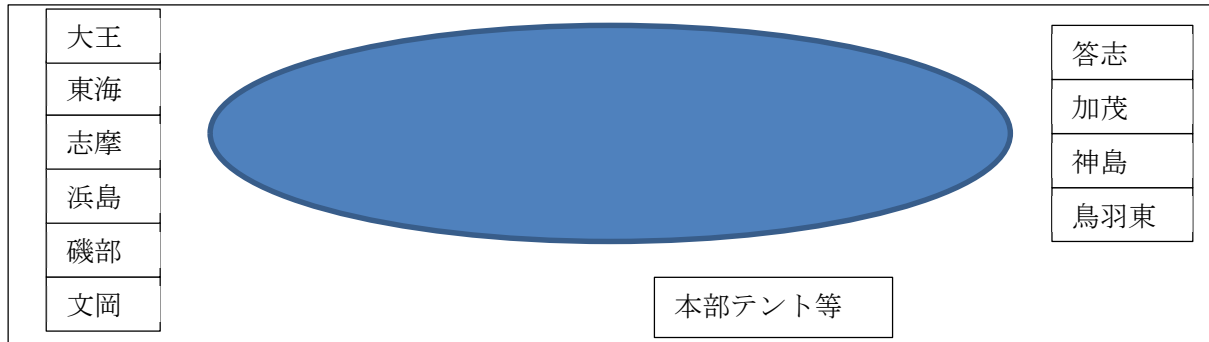
簡易ベッド3⇒鳥羽東・磯部・文岡 テント⇒各校 タンカ⇒鳥羽東・浜島

PC・プリンタ・氷のう（ビニール袋）・らくのみ・インカム・チェーンロック⇒専門部長

10 コンコース割り振りについて

1 ~ 1 4	1 5 ~ 3 5	3 6 ~ 4 0
---------	-----------	-----------

11 第二競技場割り振りについて



参加標準記録

種 目	男 子	女 子
100m	12" 34	13" 74
200m	24" 94	28" 84
400m	56" 44	
800m	2' 13" 00	2' 35" 00
2000m		7' 30" 00 (※1)
3000m	10' 00" 00	
100mH		18" 24
110mH	17" 74	
4×100mR		55" 84
4×200mR	1' 41" 00 (※2)	
低 4×100mR	51" 14	56" 64
走高跳	1m63	1m38
走幅跳	5m80	4m65
三段跳	11m80	9m50
棒高跳	3m00	1m80
砲丸投	10m50	10m00
円盤投	29m00	24m00

※1 1500mを5' 30" 00でも可

※2 400mRを49" 00でも可

決勝1位～3位のもの、さらに4位～8位の選手の中で今年度の大会・記録会（公認）、本大会中に上記の記録を突破したものは県大会の出場権を得る。

※各校一覧にして、プロ編の日に文岡中 西尾まで1部提出してください。
申し込みのファイルに一覧の形式をつけておきます。

陸上大会当日の準備と諸連絡について

- 0 中止・延期の判断は、6時に行う。延期の可能性がある場合は6：30まで待機。そこで最終決定とする。
- 1 集合 各校の理事は 6時50分 (開場は7時00分)
審判の先生は 8時45分 (駐車場係は7時00分、写判・アックス審判は8時)
※各校のバスは7：10以降に到着するものとする。
- 2 打ち合わせ 準備に関する理事の打ち合わせ6時50分
- 3 朝の準備 (補助員と共に) 7時00分 (理事打ち合わせ終了後)

走幅跳・三段跳	西尾【文岡】
走高跳・棒高跳	岡部・尾崎【高：大王、棒：東海】
砲丸投・円盤投	石本・外部審判【磯部】
ゴールタイマー	写判審判・(西尾)
スタプロ・スター	中村・成瀬・スターター審判【志摩】
判定室	写判審判
ハードル	谷【東海】
本部室 (放送)	尾上・西尾
事務室挨拶	中村・西尾
表彰室	松本
記録室	岡・平賀・西尾
用器具室	西尾
審判受付	文岡中職員 (7時15分集合)
テント (本部②・投てき場①・砲丸ピット①・走幅跳①・走高跳①・棒高跳①・各コーナー①ずつ)	岡村 (理事全員)
駐車場整理	志摩中職員 磯部中職員 鳥羽東中職員
- 4 審判打ち合わせ (8時45分 ※開会式前)

【司会 中村】	・ 会長挨拶 (東川)
	・ 審判長 (西尾)
	・ 専門部長 (西尾)

・ 全体打ち合わせ終了後、各パート別 (主任を中心に) で打ち合わせ。
- 5 弁当について (担当：西尾)
 - ・ 各校、必要な職員のみ、幹旋し注文する (審判登録の際に注文し、プロ編時に集金する)。
 - ・ 外部審判のみ弁当を渡す。
- 6 後片付けについて (全体：西尾)
 - ・ 各ブロックで責任をもって、片付ける。尚、わからない場合は、西尾に聞く。
 - 必ず、出した学校・教員で同じように片づける。
 - ※準備をする前に写真を残しておくとい。
- 7 開会式の扱いについて
 - ・ 今年度は次の通り行う。
 - ①開式通告 ②優勝旗返還 ③大会長挨拶 ④諸注意 ⑤選手宣誓
- 8 県大会への参加申し込みについて
大会終了後、専門部長 (西尾) により行う。各校の顧問・理事は各校で確認のこと。
- 9 プログラムについては、各校2部ずつ、理事分一人1部配布する。審判分については、当日の朝、審判打ち合わせの時に渡す。